

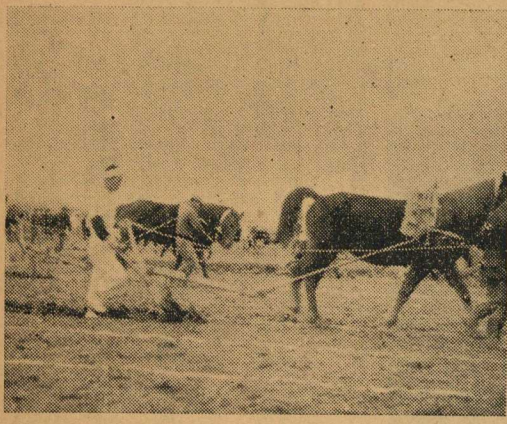
方城町財政白書

町政便り

「赤字」を無くしてしまいうまで
心を合せて頑張ろう

わが方城町は八月であります。一日町制が施行され、たまたま、昭和二十九年に於いては、将来の原野・山地の水田化並に産業開発の根本であるとして、新町建設計画の実現に努力中

わが方城町は八月であります。一日町制が施行され、たまたま、昭和二十九年に於いては、将来の原野・山地の水田化並に産業開発の根本であるとして、新町建設計画の実現に努力中



発行所 福岡県田川郡方城町役場
発行人 中野 実
【通第五十一号】
印刷所 冷牟田印刷合資会社

を極度に圧縮して、予算四、七〇九万六千円議決を得て執行中であります。

尚再建計画確認と共に、現行予算の再検討を必要とするを覚悟してはありませぬか。

更に伸びる奥ヶ畑林道

昭和三十年年度まで一・三三七米深く感謝致します。昭和三十一年の林道が開設され、現在山の中腹度開設予定路線五三〇米(第五期まで)トラックが登り、木材の搬出工事、も去る十月二十八日測量に役立って居ります。これも地元、近く工事にかゝる予定にな

悟せねばなりません。いすれにいたしても財政再建は、なまやさしい覚悟では出来ぬ事であり、歳入の増取をはかる一方、歳出の抑制につとめ、町財政再建基本方針及び計画に十二分の御協力をお願い致します次第であります。

「無税の町」も「火の用心から」
家でも山でも焼いてしまえば後の祭
全国火災予防運動実施にまいりませぬか。

十二月二十六日から十二月三十一日まで一週間、火災多発期に対処し、全国一斉に火災予防運動が実施されます。火災の原因は日常生活に直結するものが多く、皆様の自覚と御協力を特にお願い致します。全国の火災による損害は一日約一億円で、七〇件の火災が毎日どこかで起り、しかもその原因の九割以上が火気取扱いの不注意によるものです。いよいよ火災発生生の多くなる時期となりますので、お互に充分注意される事をお願い致します。

古門の野に幟はためく

十一月十三日町競犁会

等級	氏名	氏名	氏名
一等	春田(馬) 原田 政幸	長浦(馬) 石橋 伝	西古門 高木そえ
二等	野添(馬) 高崎 勝	古門第一 田丸とせ子	久六(馬) 久富かずみ
三等	古門第二(馬) 田丸 繁松	少年の部 やちよ	古門第一 田丸とせ子
一等	浄方寺(牛) 葛原 幸美	新門(馬) 石花 秀人	新門(馬) 松島 秀
二等	浄方寺(牛) 岩崎 慶一郎	見六(馬) 永末 照秋	久六(馬) 久富 日吉
三等	野地(馬) 永末 力	見六(馬) 永末 照秋	久六(馬) 久富 日吉
一等	西古門(馬) 仲村 清治	見六(馬) 永末 照秋	久六(馬) 久富 日吉
二等	西古門(馬) 仲村 清治	見六(馬) 永末 照秋	久六(馬) 久富 日吉
三等	西古門(馬) 仲村 清治	見六(馬) 永末 照秋	久六(馬) 久富 日吉

方城町消防団

<p>消防長 倉石 文夫</p> <p>副消防長 中野 実</p> <p>分団長 今水 昭</p> <p>分団員 岡本 義春</p>	<p>本部長 白石 蔵太郎</p> <p>副本部長 藤吉 深川 治郎</p> <p>松島 政夫、白石 蔵太郎</p>	<p>第一班(五名) 香月 義</p> <p>第二班(五名) 永末 信吾</p> <p>第三班(五名) 中山 光文</p> <p>第四班(五名) 稲富 明</p> <p>第五班(五名) 堀江 一夫</p>	<p>第一班(八名) 渡辺 義信</p> <p>第二班(八名) 川端 庄市</p> <p>第三班(八名) 久松 勝重</p> <p>第四班(六名) 永岡 蔵</p>	<p>第一班(八名) 第一班(八名) 第一班(八名)</p> <p>第二班(八名) 第二班(八名) 第二班(八名)</p> <p>第三班(八名) 第三班(八名) 第三班(八名)</p> <p>第四班(八名) 第四班(八名) 第四班(八名)</p> <p>第五班(八名) 第五班(八名) 第五班(八名)</p> <p>第六班(八名) 第六班(八名) 第六班(八名)</p>
--	--	--	--	---

苦心と努力の連続

昭和31年をかえりみて

本年度当初に於ける町長の施政方針は、総て重点施策であつて、町民に負担を掛けず、外かからざる様に努力して解消する。

4 財政再建策定計画の用意を示す

等の大綱が示され、着々と実行に移されて来た。

一月四日 御用始め、町長訓示

夢を持ち、理想をかかげ、これが実現に努力せよ(努力・効果・進歩)をかくて、美味しくて、ねぼりある人となれ、職員の間違ひ

3 入るを回り出すを制す

2 基本財源の確保

1 赤字の解消

1 赤字の解消

2 基本財源の確保

3 入るを回り出すを制す



高まる道路愛護心

高まる道路愛護心

全町あげて奉仕作業

去る十月七日、秋晴れの好天気に恵まれて、町内一斉道路愛護作業が実施されました。

早期より町民の御協力に依り、優秀な成績を挙げ得ました事を厚く御礼申し上げます。

今後は、町祝賀祭を目前に控えて各連絡会共非常に張り切つて作業を実施して居り、奮励班員々頭

の下の思ひでした。

特に後上組連絡会長楠木温理氏、野添連絡会長久富武士氏等は予定の作業が終らないため、炊出しまで夕方おそくまで作業に協力して下さいました。事は、道路愛護心の現われと思ひます。今後共この様に貴族方の御協力を御願ひ致します。

なぜ木を植えることが必要であるか

直方営林署(官行造林係) 福田 敬喜

草木も生えない砂漠のことを考えましょう。そこは人も住めず鳥も鳴かず、花も咲かない荒れ果てた土地です。

ヴァルガス兄弟がデンマークの荒地に植林して、不毛の地を豊かに豊沃の楽土とし、現在の緑な世界を農業先進国にした話は、よく人に知られてゐる事です。

明治この方がある、文化がすすむ、森林は伐り開かれて農耕地にされたり、屋敷や工場に量産されてゐる。その上、木材を使うは急速にふる。山は荒れて行く

は村全体に響く、第三者に認められる努力がなくてはならない。

八日 長浦長尾新太郎方屋裏より出火

一〇日 二区住宅出火(幼女四才焼死)

一五日 消防出初式

二月一日 探銅所村、延焼山火事

八日 伊方校上棟式

地方財政再建促進特別措置法の調査開始

一〇日 特別交付税の件について町長と交渉を始める

町制施行実行委員会(以下略)

定例会(以下略)

追加予算並に三十二年

度当初予算案提出

一六日 議会議員植林奉仕実行

二九日 全議員協議会開催

四月一日 モデル結婚式挙行

九日 伊方校第一教壇工事後検査

一〇日 隠田池特別委員会開催(以下略)

一八日 臨時町議会開催(以下略)

一九日 道路愛護実施

五月二日 臨時町議会開催(町制施行協議会)

九日 町制施行可否について懇談会(山の手)

十一月 同右(八幡町)農工商一工、大いに賛成である

新門農事研究会について

新門農事研究会の会は昨年の二月に結成された。今までの多くの研究会は上級機関の半強制的要望や発起人に対する義理で入会した人々によつてつくり、日数がたつて自然消滅するものが多し。新門研究会は農村百年の基礎を築くべく同志が集まり自主的に

「夢」運まき対策「発芽を早めるため風呂の湯に一昼夜つけて引上げムシロを覆つて芽を切らしたものをまく。播種期が遅れると分ヶツが少いので播種量を多くする。土入れに相当入念に覆土したものも降雨や霜霜によつて土壌が沈降し麦の種や幼根が露出する。これは寒害のため枯死

十二月・一月農事メモ

苗が小さい場合少い枝で増収を図るためには密植とす土入れを行う。畦畔苦土石灰の施用最近表に苦土不足の症状が多現われ減収のもととなっているので、畦畔苦土石灰(農協で売っている)を反当り一〇・三〇貫を施用する(播種後畦上に散布してもよい)メクラ除草表の葉が三

不自由していると云つて、技術水準の低い農家が西瓜・トマト・キウリ等を栽培せざる必要に迫られて居る。これは此の野菜の不自由から脱した。そして今では自作の表を野菜研究会及び各人の体験発表会と研究会に対する批判がない。研究会に反対する批判がない。研究会に反対する批判がない。研究会に反対する批判がない。

個人研究として初年度は温床育苗・トマト・西瓜等の果菜類の栽培。白菜・ナタネの栽培を会員は多少にかかわらず研究のため栽培した。失敗もあつたが、しかし栽培したこと、すべては会員にとつて貴重な体験であつた。二年目を迎へ技術は急速に向上した。温床育苗・夏野菜の栽培・水稲の多収成績栽培と初年度と比較にならない成績をあげている。いつか私は野菜を作つて居る農家が、一番野菜に

それより約百十数年後の現在は日本の人口も何倍かに増加している。後推測され、今後三十年・五十年後の方城町の人口も、職業別人口も大きく変化すると考えられる。そのときの財源は、一に山林資源の活用、二に建設のため努力致しましよ

平和な緑の町、緑の平和な町方の建設のため努力致しましよ

【田川北部農業改良普及所 長尾普及員】

研究は自分達のものではなく、よい技術は出来るだけ多くの人々に技術指導の助言者となつて居る。

(この会の最も熱心な会員の一入であつた鈴木正直氏は、去る十一月十三日朝、馬の事故で急逝された。惜しんでも惜しまないものがあり、心からその御冥福をお祈りして止まない次第です。)

【田川北部農業改良普及所 長尾普及員】